

分野連携企画報告書

ロボティクス・メカトロニクス講演会シンポジウム「超人スポーツグラ
ンドチャレンジが挑戦する未来」およびOS「スポーツ工学とロボティク
ス・メカトロニクス」

行事URL : <https://robomech.org/2022/event/#Symposium>

1.開催日・会場

6月3日（金）札幌コンベンションセンター

3.企画内容

スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門とロボティクス・メカトロニクス部門に関連する研究者間の議論・交流の機会として、ロボティクスメカトロニクス講演会2022において「スポーツ工学×ロボメカ技術としての超人スポーツランドチャレンジ」シンポジウムを開催した。また同講演会において、OS「スポーツ工学とロボティクス・メカトロニクス」を企画した。

4.連携の成果

「スポーツ工学×ロボメカ技術としての超人スポーツランドチャレンジ」シンポジウムは6月3日に札幌コンベンションセンターにおいて開催され、稲見昌彦、持丸正明、田中孝之、栗田雄一、南澤孝太、中島求、河村隆、池田篤俊、Robin Bing-Yu Chenの各氏からの講演ならびにパネルトークがされた。これには約80名の聴講者が集まり、未来のスポーツ工学×ロボメカについて、活発な意見交換が行われた。OS「スポーツ工学とロボティクス・メカトロニクス」は、6月3日（金）に札幌にコンベンションセンターならびにオンラインで開催された。本OSにおいては13件の発表があり、研究者間の活発な交流が行われた。

2.企画部門

ロボティクスメカトロニクス部門
スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門

5.今後の課題（苦勞した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

COVID19のまん延状態の予測がつかず、オンライン開催にするか現地開催にするかの判断が難しかった。結果的にシンポジウムは対面開催のみ、OSは対面+配信のハイブリッドになった。異分野連携をすすめるためにも対面での交流を促進したいものの、なにをどこまでしてよいのか、試行錯誤であった。

